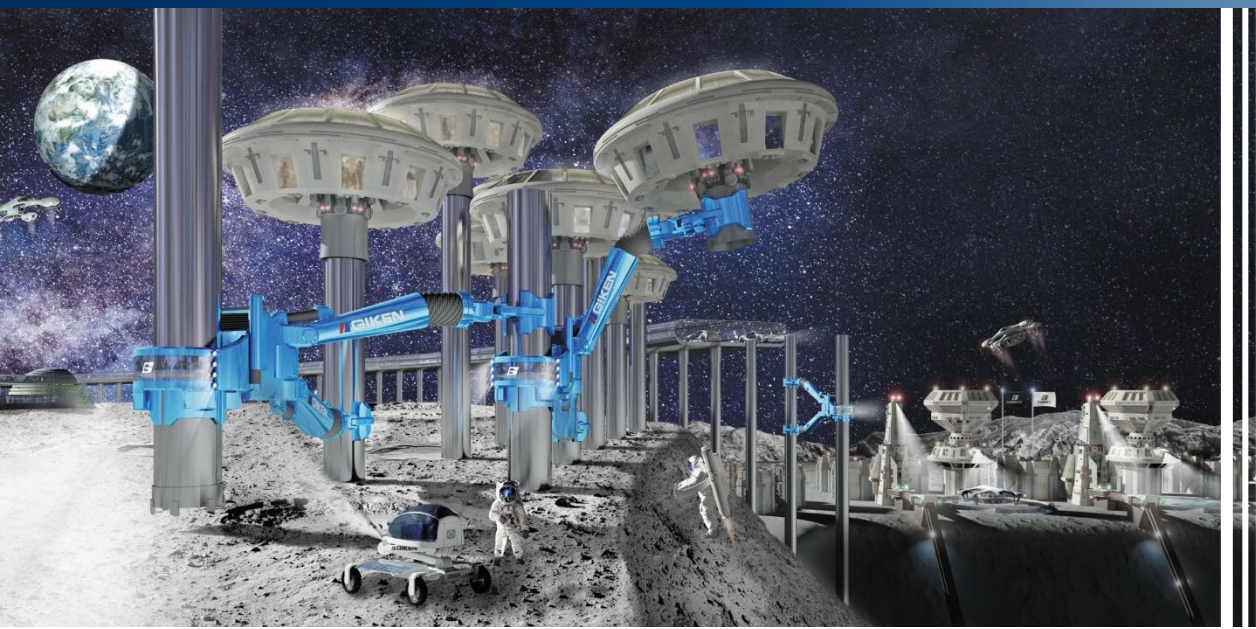




Construction Revolution



2024年8月期(2023年9月～2024年8月)



株式会社 技研製作所 決算説明資料

2024年10月11日
証券コード:6289

将来見通しに関する注意事項

本資料において提供される当社および当社グループの現在の方針、経営戦略などの情報のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する記述をはじめとする、現在入手可能な情報をもとに構築したいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、各国の経済状況や業界並びに市場の景況、金利や物価、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

目次

I.業績関連

- 2024年8月期決算概要 P 3
- 2025年8月期業績予想 P 12
- 株主還元 P 19

II.参考資料 P 21

2024年8月期 決算概要

業績推移 — ポイント

(1) 建設機械事業

- ◎ 国内において、建設投資は堅実に推移したものの、コスト上昇を受けた公共事業の施工規模の縮小がユーザーの設備投資に影響
- ◎ 海外において、大型特殊機（中古機含む）の製品販売が進捗
- ◎ 人件費等の販管費が増加

(2) 圧入工事事業

- ◎ 国内において、付加価値の高い開発型案件※を堅調に受注
- ◎ 海外連結子会社の1社減（2023年8月期第4四半期）で販管費が減少

※ 一般開放する前の当社が開発した製品・工法を使った工事案件を開発型案件と呼んでいます

業績推移 — 通期

- ・売上高は前年同期比0.7%増収の29,481百万円
- ・営業利益は前年同期比11.4%増益の3,324百万円
- ・当期純利益は前年同期比187.9%増益の2,437百万円

単位：百万円

通 期	2022/8期		2023/8期		2024/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売 上 高	30,378	+10.0%	29,272	▲3.6%	29,481	+0.7%
国 内 売 上	24,413	+10.2%	25,180	+3.1%	25,486	+1.2%
海 外 売 上	5,965	+9.3%	4,092	▲31.4%	3,994	▲2.4%
海 外 比 率	19.6%	▲0.2%pt	14.0%	▲5.6%pt	13.5%	▲0.5%pt
売 上 総 利 益	11,725	+10.5%	10,709	▲8.7%	10,867	+1.5%
営 業 利 益 (営 業 利 益 率)	4,613 (15.2%)	+15.4%	2,983 (10.2%)	▲35.3%	3,324 (11.3%)	+11.4%
経 常 利 益	4,832	+16.1%	3,060	▲36.7%	3,582	+17.1%
当 期 純 利 益 ^{※1}	3,234	+5.2%	846 ^{※2}	▲73.8%	2,437	+187.9%
1 株 当 た り 純 利 益	117.65円	+4.8%	30.82円	▲73.8%	90.99円	+195.2%

※1 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2023年8月期は、特別損失として関係会社整理損 1,367百万円を計上しております。

業績推移 — 4Q単体（6月～8月）

- ・売上高は前年同四半期比9.0%減収の7,347百万円
- ・営業利益は前年同四半期比39.7%減益の486百万円
- ・四半期純利益は前年同四半期比64.8%減益の219百万円

単位：百万円

4Q単体	2022/8期		2023/8期		2024/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	9,609	+20.0%	8,076	▲16.0%	7,347	▲9.0%
国内売上	7,578	+28.1%	7,135	▲5.8%	6,134	▲14.0%
海外売上	2,030	▲2.9%	940	▲53.7%	1,212	+28.9%
海外比率	21.1%	▲5.0%pt	11.6%	▲9.5%pt	16.5%	+4.9%pt
売上総利益	3,529	+22.9%	2,757	▲21.9%	2,504	▲9.2%
営業利益 (営業利益率)	1,439 (15.0%)	+42.7%	806 (10.0%)	▲43.9%	486 (6.6%)	▲39.7%
経常利益	1,516	+44.1%	806	▲46.8%	450	▲44.2%
四半期純利益※	1,034	+4.6%	623	▲39.7%	219	▲64.8%
1株当たり純利益	37.60円	+4.3%	22.77円	▲39.4%	8.19円	▲64.0%

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント別業績推移 ― 通期 建設機械事業

- ・ 売上高は前年同期比0.6%増収の21,402百万円
- ・ 営業利益は前年同期比0.9%減益の4,624百万円
- ・ 営業利益率は前年同期比0.3%ptマイナスの21.6%

単位：百万円

建設機械事業	2022/8期		2023/8期		2024/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	21,694	+7.9%	21,276	▲1.9%	21,402	+0.6%
国内売上	18,865	+13.6%	18,699	▲0.9%	17,266	▲7.7%
海外売上	1,986	▲21.4%	2,053	+3.4%	3,674	+78.9%
内部売上	842	▲12.5%	523	▲37.9%	461	▲11.8%
海外比率※	9.5%	▲3.7%pt	9.9%	+0.4%pt	17.5%	+7.6%pt
営業利益 (営業利益率)	6,068 (28.0%)	+27.1%	4,668 (21.9%)	▲23.1%	4,624 (21.6%)	▲0.9%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

セグメント別業績推移 ― 通期 圧入工事事業

- ・ 売上高は前年同期比1.3%減収の8,683百万円
- ・ 営業利益は前年同期比32.7%増益の1,161百万円
- ・ 営業利益率は前年同期比3.4%ptプラスの13.4%

単位：百万円

圧入工事事業	2022/8期		2023/8期		2024/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	9,656	+11.5%	8,796	▲8.9%	8,683	▲1.3%
国内売上	5,547	▲0.0%	6,480	+16.8%	8,220	+26.8%
海外売上	3,978	+35.6%	2,038※2	▲48.8%	320	▲84.3%
内部売上	129	▲27.8%	276	+113.2%	142	▲48.4%
海外比率※1	41.8%	+7.2%pt	23.9%	▲17.9%pt	3.8%	▲20.1%pt
営業利益 (営業利益率)	948 (9.8%)	▲23.7%	875 (10.0%)	▲7.7%	1,161 (13.4%)	+32.7%

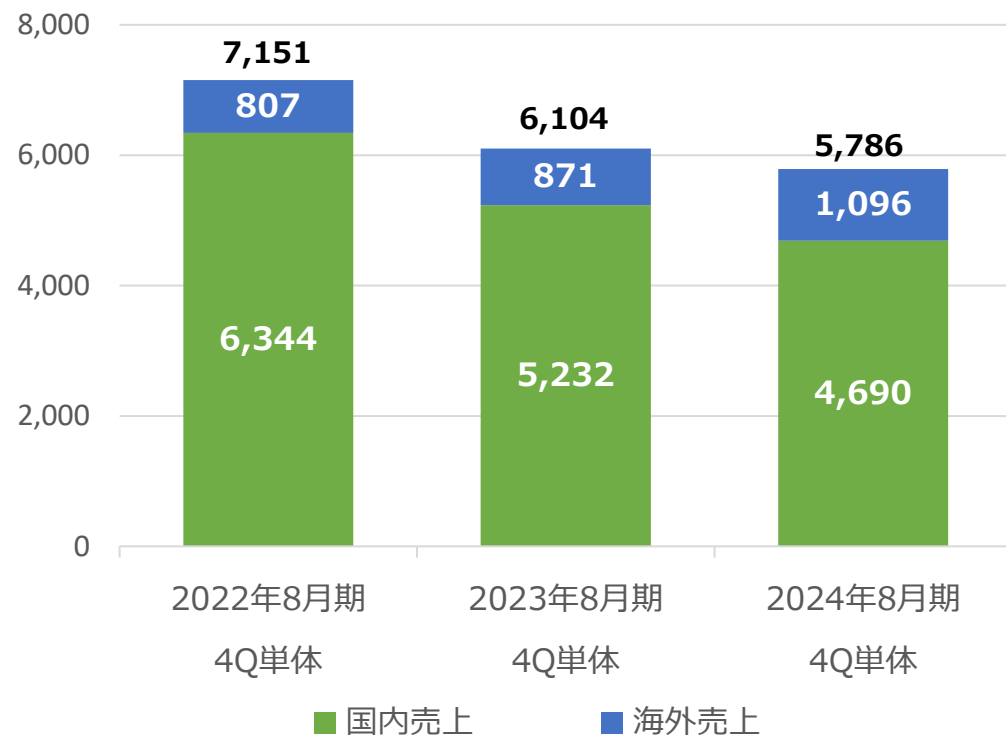
※1 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

※2 2023年6月より海外連結子会社が1社減少

セグメント別売上高推移 — 4Q単体（6月～8月）

建設機械事業

単位：百万円

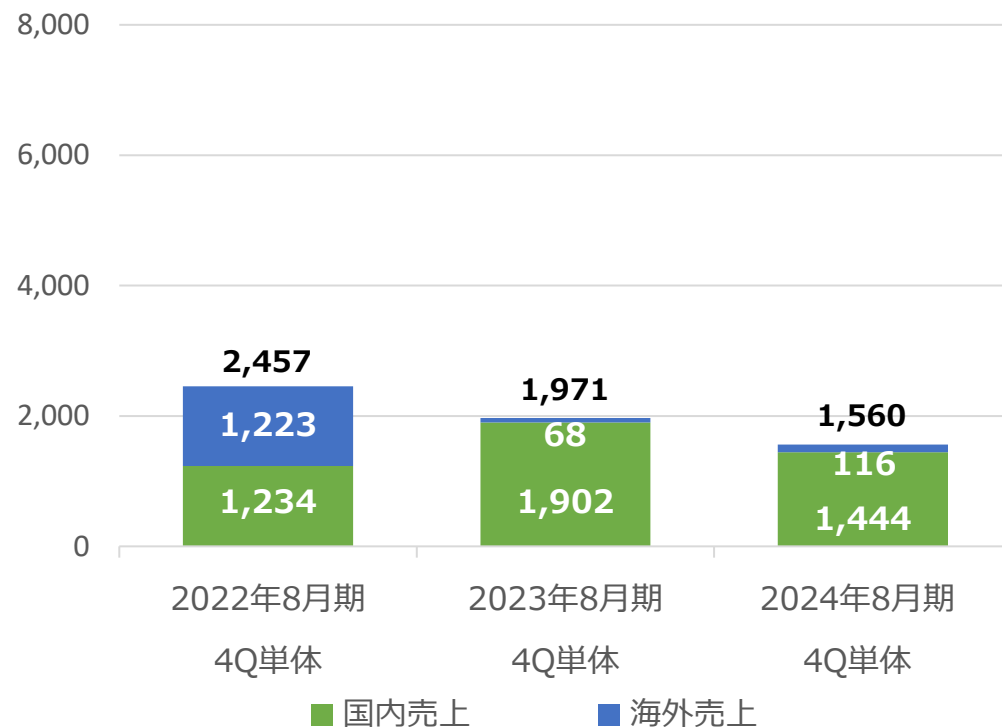


【売上高の変動要因：4Q（6-8月）】

- 国内：⊖物価高騰の影響で製品販売が減少
 海外：⊕米国のユーザーに大型特殊機を販売
 ⊕シンガポールのユーザーに大型特殊機を販売
 ⊕オランダ、イタリア、デンマークのユーザーに大型特殊機を販売
 ⊕台湾のユーザーに一般機を販売

圧入工事事業

単位：百万円



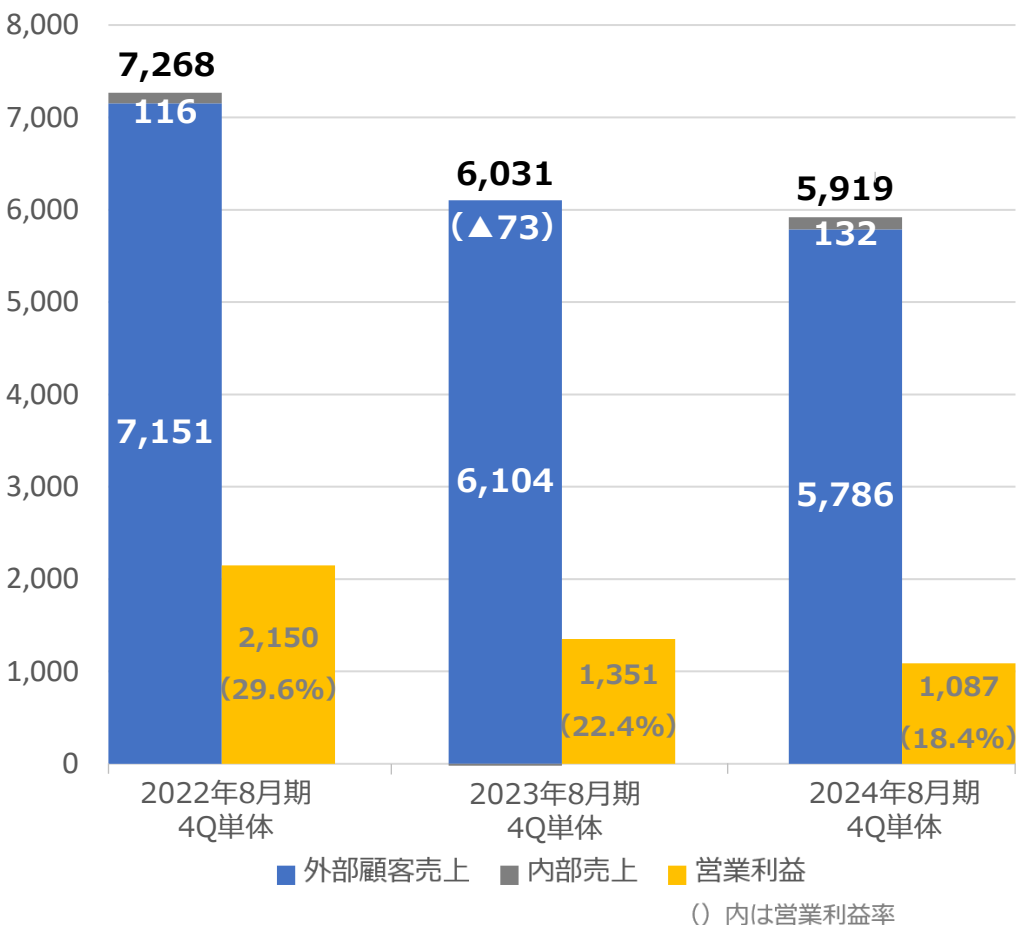
【売上高の変動要因：4Q（6-8月）】

- 国内：⊖第3四半期の好進捗を受け工事進捗量が減少
 海外：⊕ドイツでの市場拡大に伴いオペレーター付きレンタルの需要増

セグメント別営業利益推移 — 4Q単体（6月～8月）

建設機械事業

単位：百万円

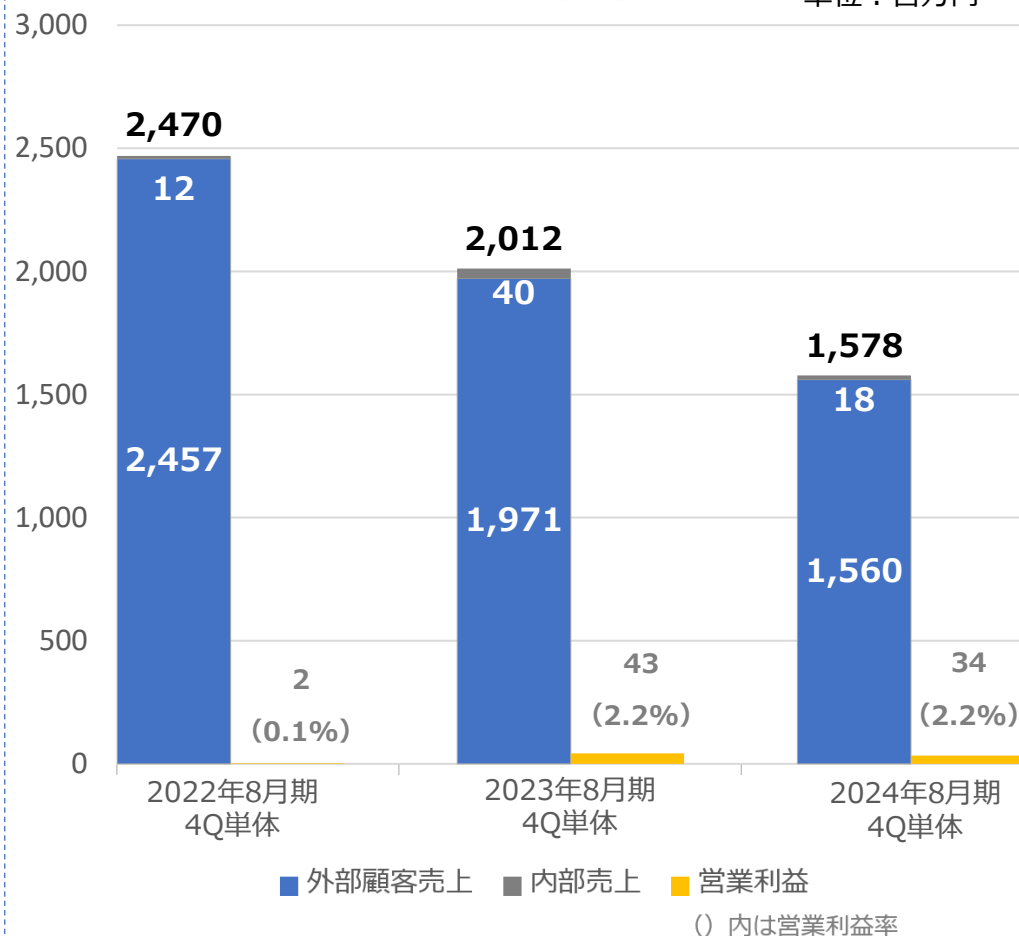


【利益率の変動要因：4Q（6-8月）】

○売上減による売上総利益の減少

圧入工事事業

単位：百万円



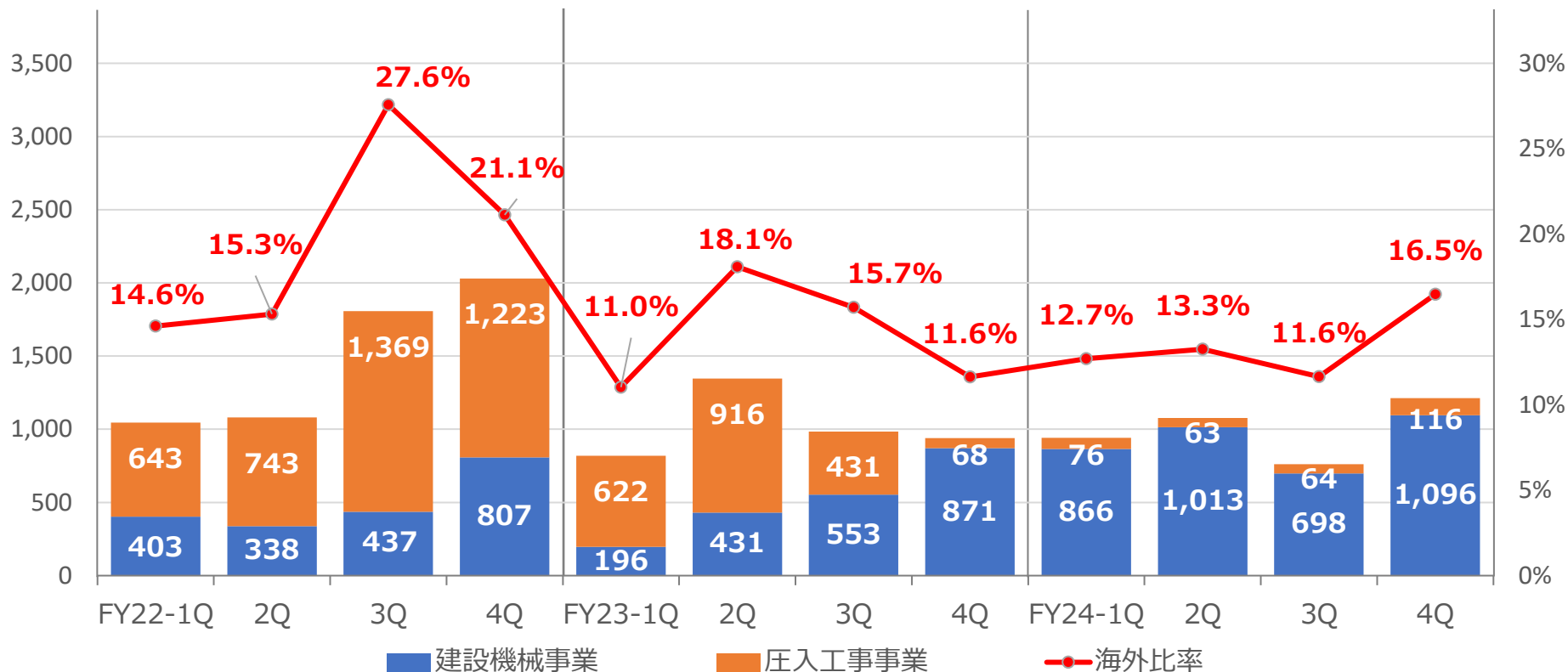
【利益率の変動要因：4Q（6-8月）】

⊕利益率の高い開発型案件の増加

⊖人件費等の販管費の増加

海外売上高・海外比率推移

単位：百万円



	FY22				FY23				FY24			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
海外売上高	1,046	1,081	1,806	2,030	819	1,347	984	940	943	1,076	762	1,212

(注) 2023年8月期第4四半期より海外連結子会社が1社減少

2025年8月期 業績予想

業績予想

単位：百万円

	2024/8期 実績	2025/8期予想			
		上期予想	下期予想	通期予想	前期比
売上高	29,481	15,700	14,300	30,000	+1.8%
営業利益	3,324	2,550	950	3,500	+5.3%
経常利益	3,582	2,600	1,000	3,600	+0.5%
当期純利益※	2,437	1,900	700	2,600	+6.7%
1株当たり純利益	90.99円	70.98円	26.15円	97.13円	+6.7%

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

(1) 建設機械事業

◎顧客の設備投資は底堅く推移

- ・国内の国土強靱化施策や能登半島地震復旧・復興関連事業、高速道路、港湾等、インフラ投資は堅調さを維持

◎鋼材価格高騰や労務費上昇の影響については引き続き注視が必要

◎海外は市場形成が軌道に乗りつつある地域に経営資源を集中し、事業基盤を整備

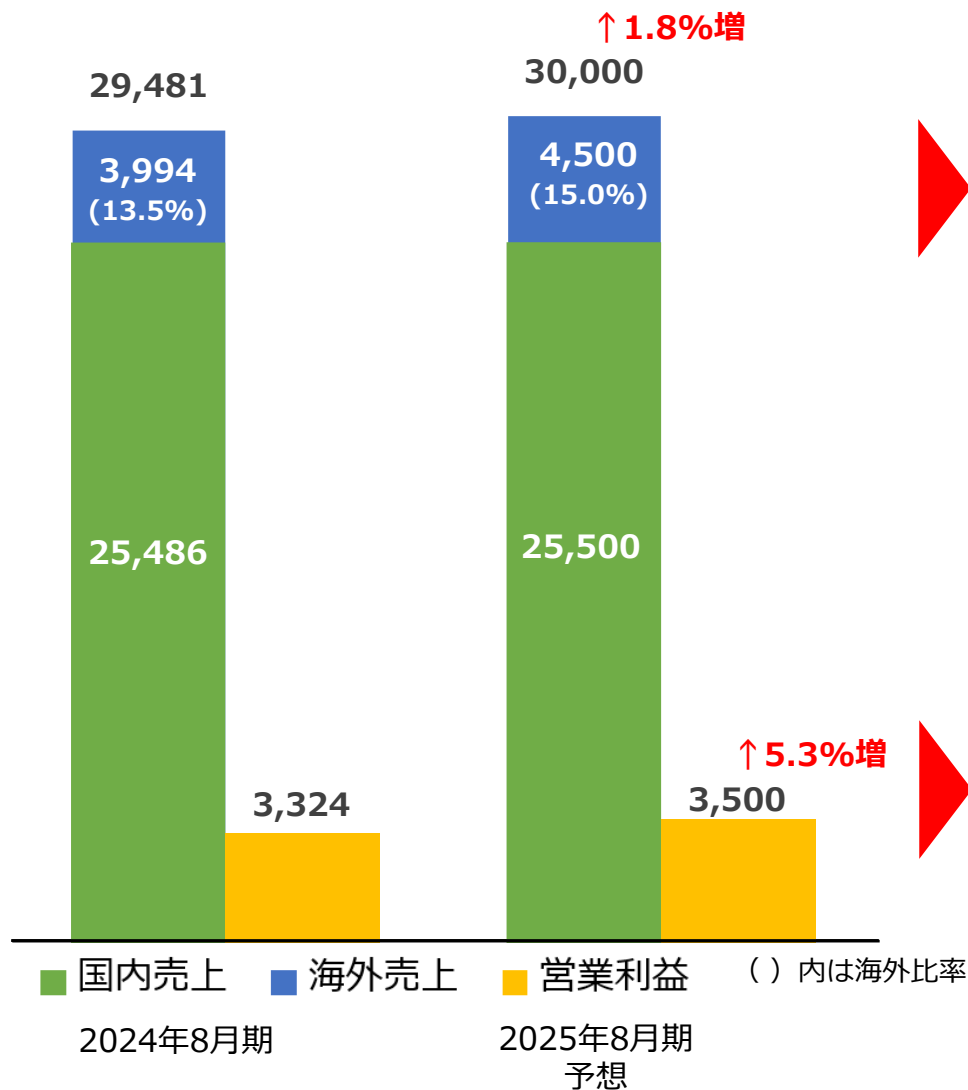
(2) 圧入工事事業

◎開発型案件を中心に堅調に受注

- ・国道や高速道路の築造・改装工事、河川流域治水事業、鉄道の立体交差事業、発電所内施設整備事業等において、開発型案件の受注が堅調に推移

業績予想 — 売上高・営業利益

単位：百万円



【売上高変動要因】

- 硬質地盤における現場の生産性を高めるとともに、市場開拓と開発に資するデータ収集が可能な製品の販売が引き続き進捗する見通し
- 市場形成が軌道に乗りつつあるヨーロッパ、アジア地域での売上が増加する見通し
- 開発型案件を堅調に受注見通し

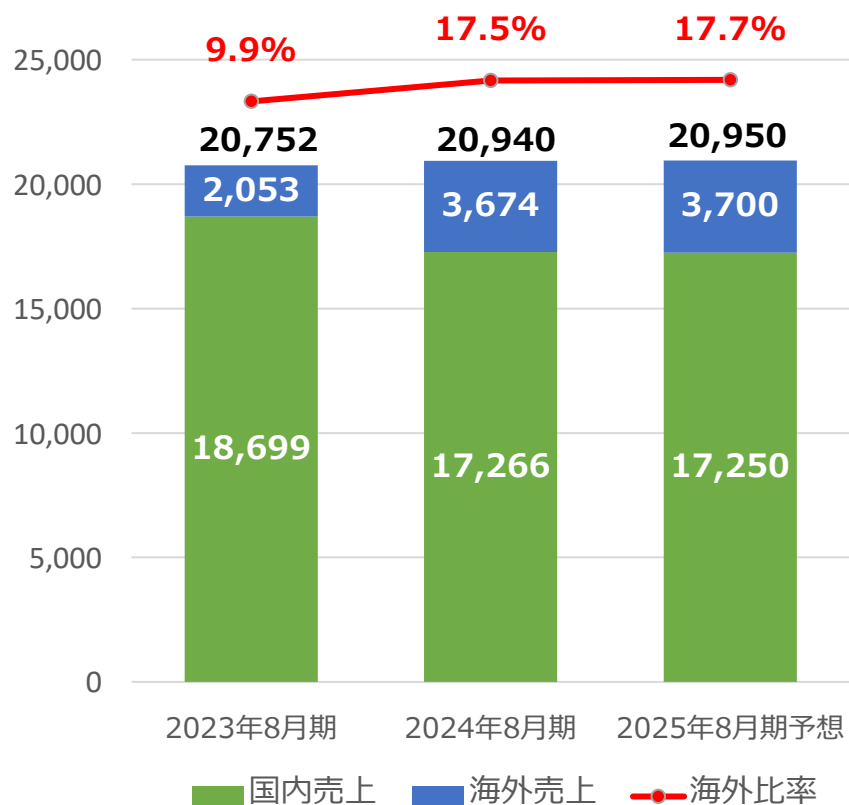
【営業利益変動要因】

- 国内において大型特殊機の販売が増加する見通し

業績予想 — セグメント別売上高

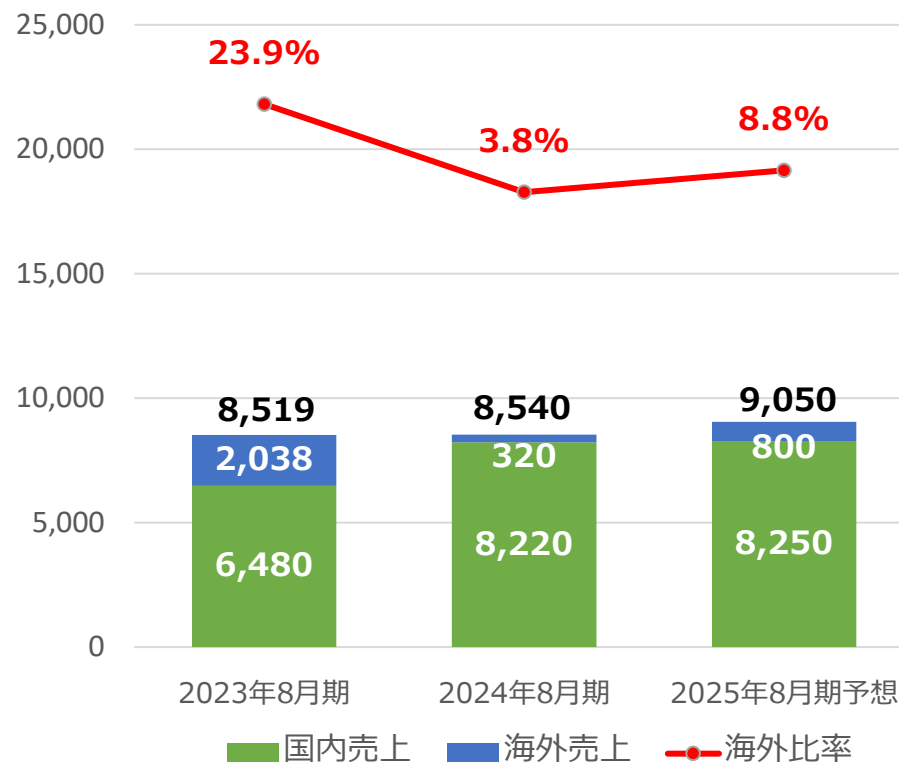
建設機械事業

単位：百万円



圧入工事事業

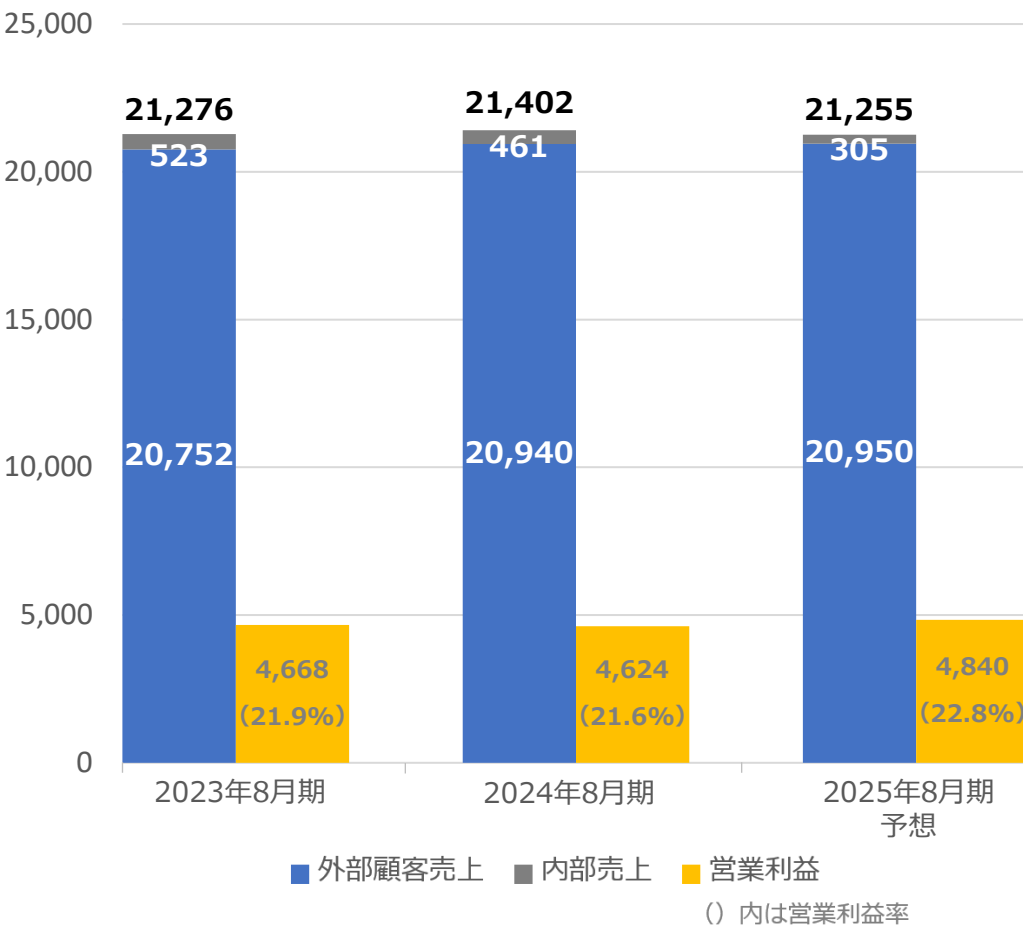
単位：百万円



業績予想 ― セグメント別営業利益

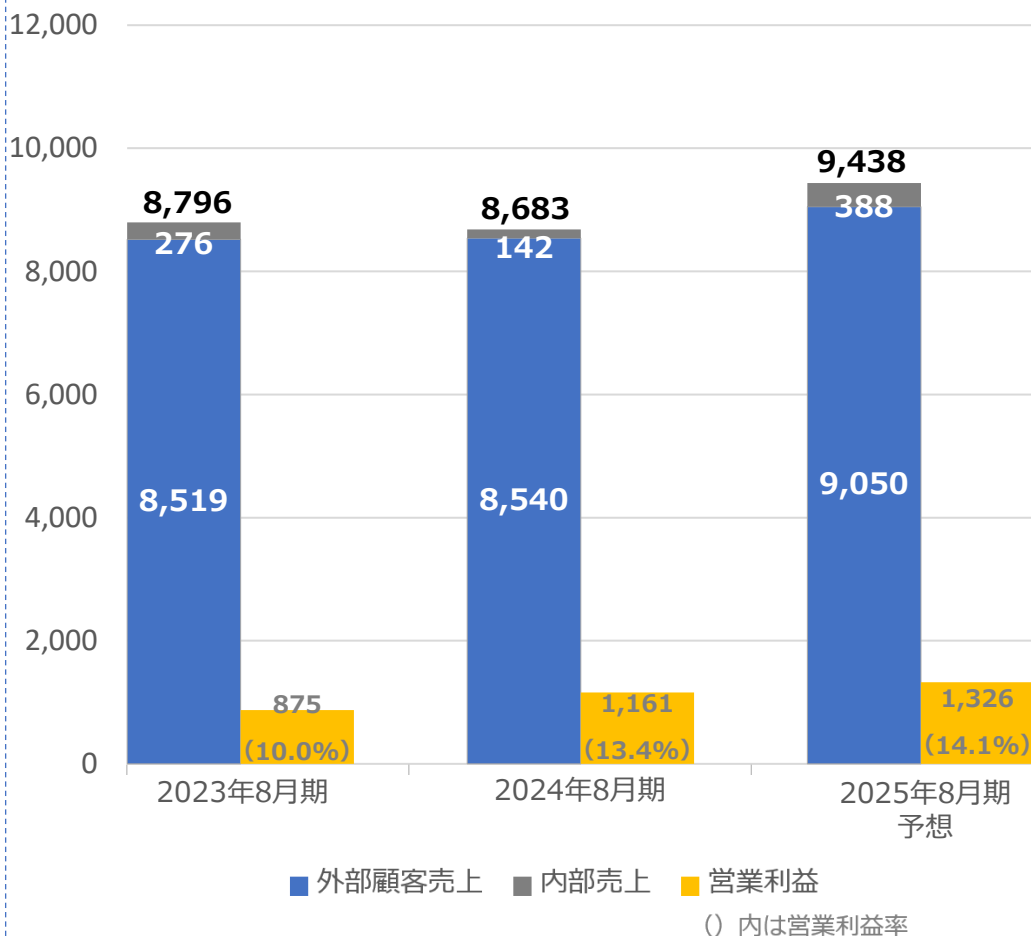
建設機械事業

単位：百万円



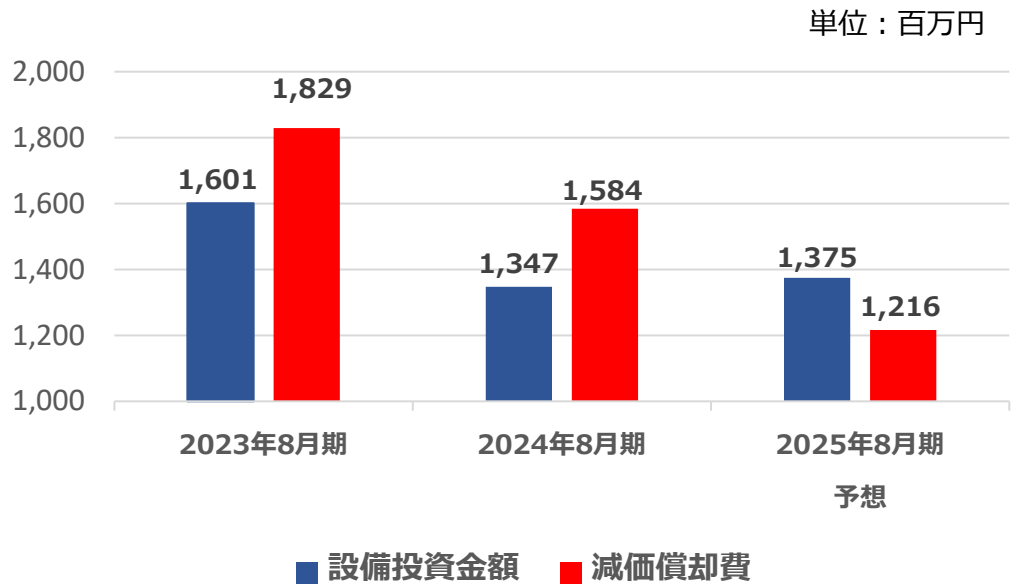
圧入工事事業

単位：百万円



業績予想 ― 設備投資、研究開発費

◎ 設備投資、減価償却費



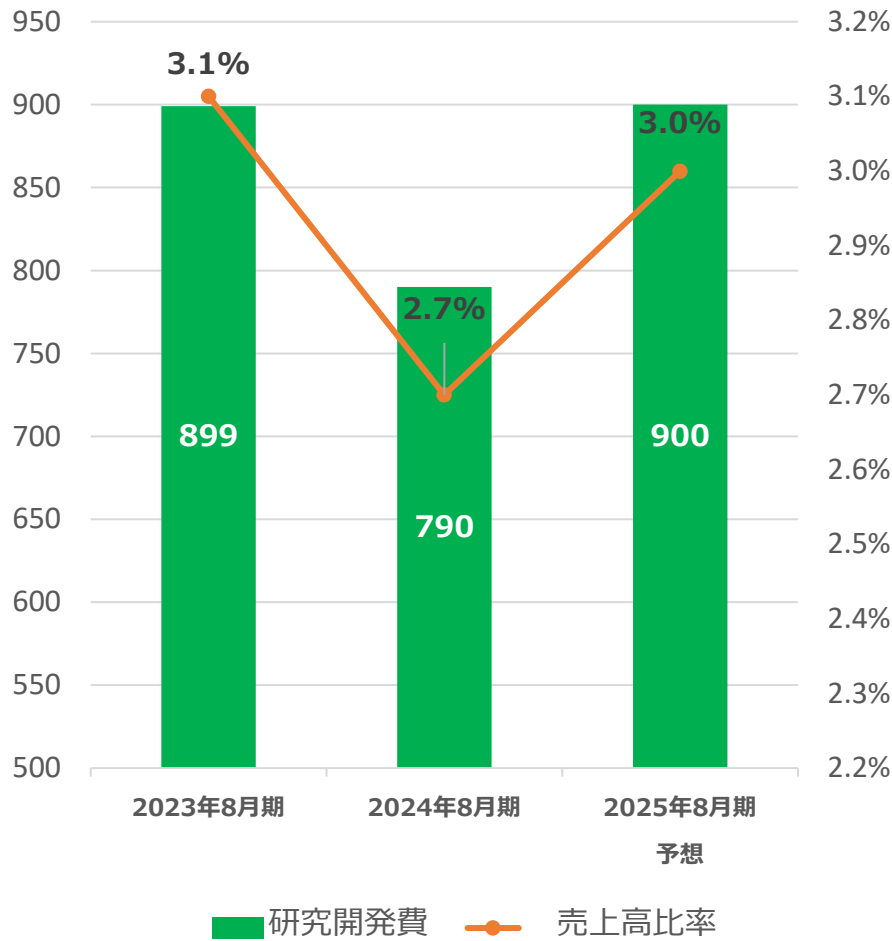
設備投資内訳

単位：百万円

	2023/8期	2024/8期	2025/8期 予想
レンタル・デモ機用	656	604	611
事務所・工場等施設	456	309	219
その他	489	432	545
合計	1,601	1,347	1,375

◎ 研究開発費

単位：百万円



株主還元

株主還元

2024/8期

第2四半期配当金…普通配当 20円 (実績)
期末配当金 …普通配当 22円※

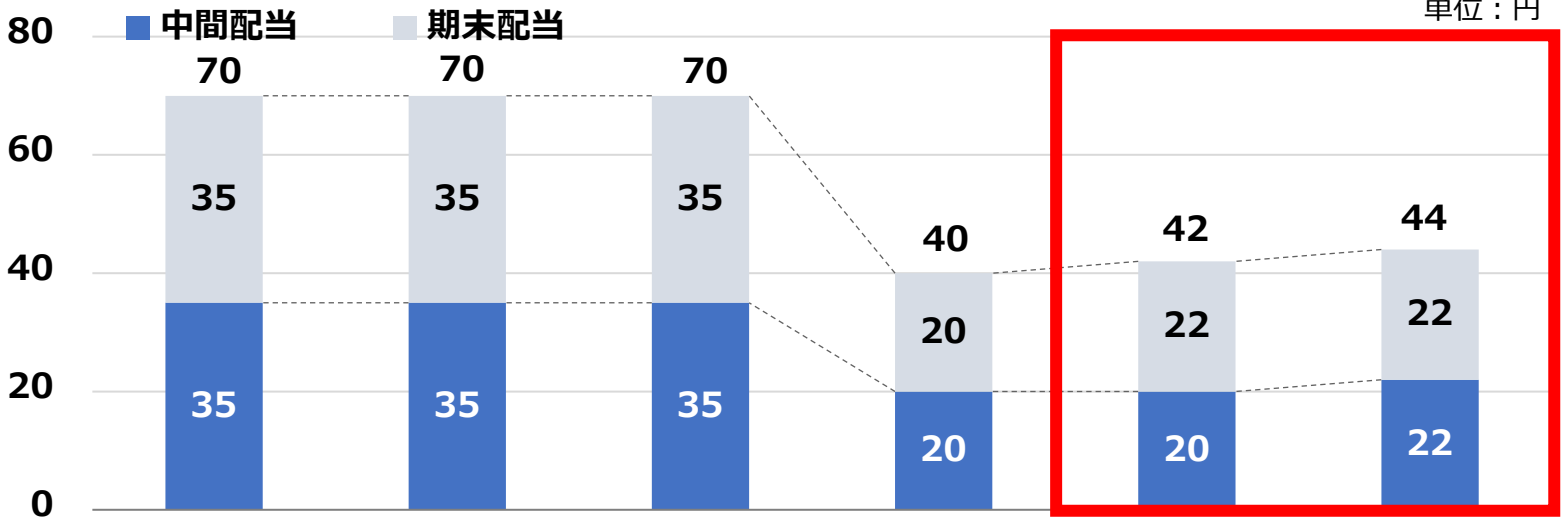
2025/8期 (予想)

第2四半期配当金…普通配当 22円
期末配当金 …普通配当 22円

※ 2024年11月26日開催予定の第43期定時株主総会にて付議



単位：円

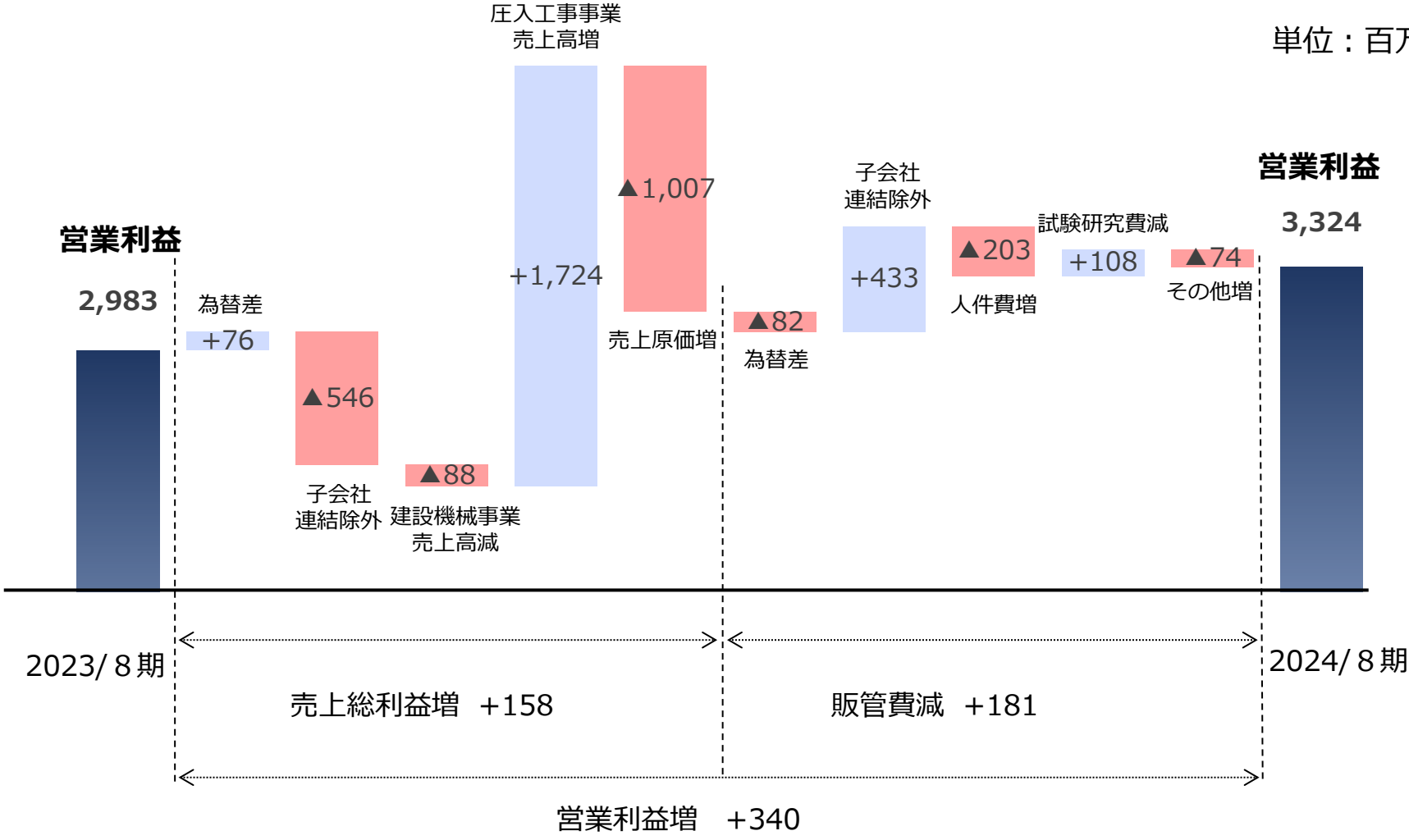


	2020/8期	2021/8期	2022/8期	2023/8期	2024/8期	2025/8期予想
当期純利益 (百万円)	1,400	3,073	3,234	846	2,437	2,600
1株当たり純利益 (円)	51.28	112.22	117.65	30.82	90.99	97.13
配当性向 (%)	136.5	62.4	59.5	129.8	46.2	45.3
純資産配当率 (%)	5.1	5.0	4.8	2.7	2.8	2.9
総還元性向 (%)	136.7	62.4	59.5	197.2	84.1	45.3

參考資料

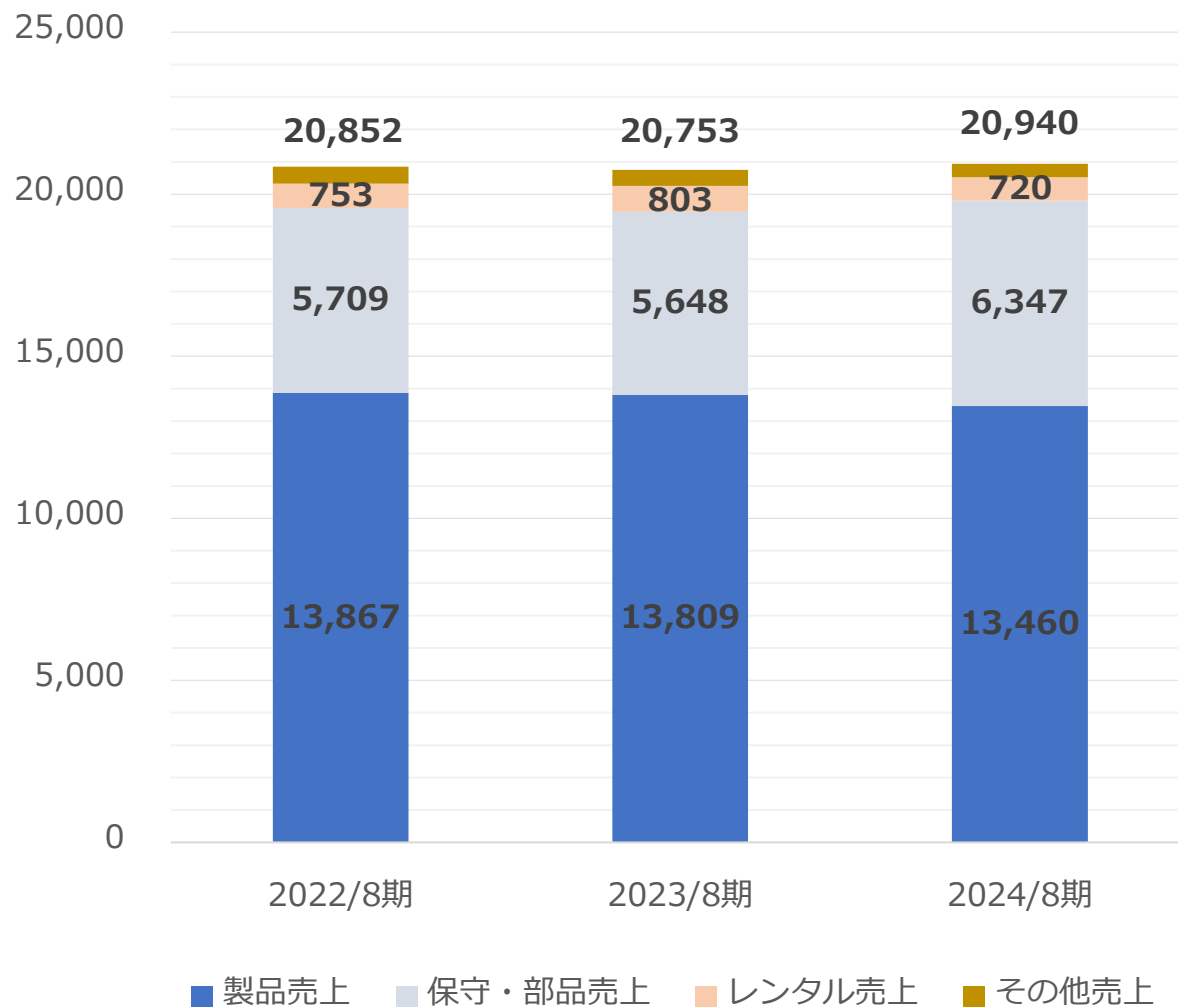
2024年8月期決算概要 ― 営業利益増減

単位：百万円



2024年8月期決算概要 ― 建設機械事業 区分別売上高

単位：百万円

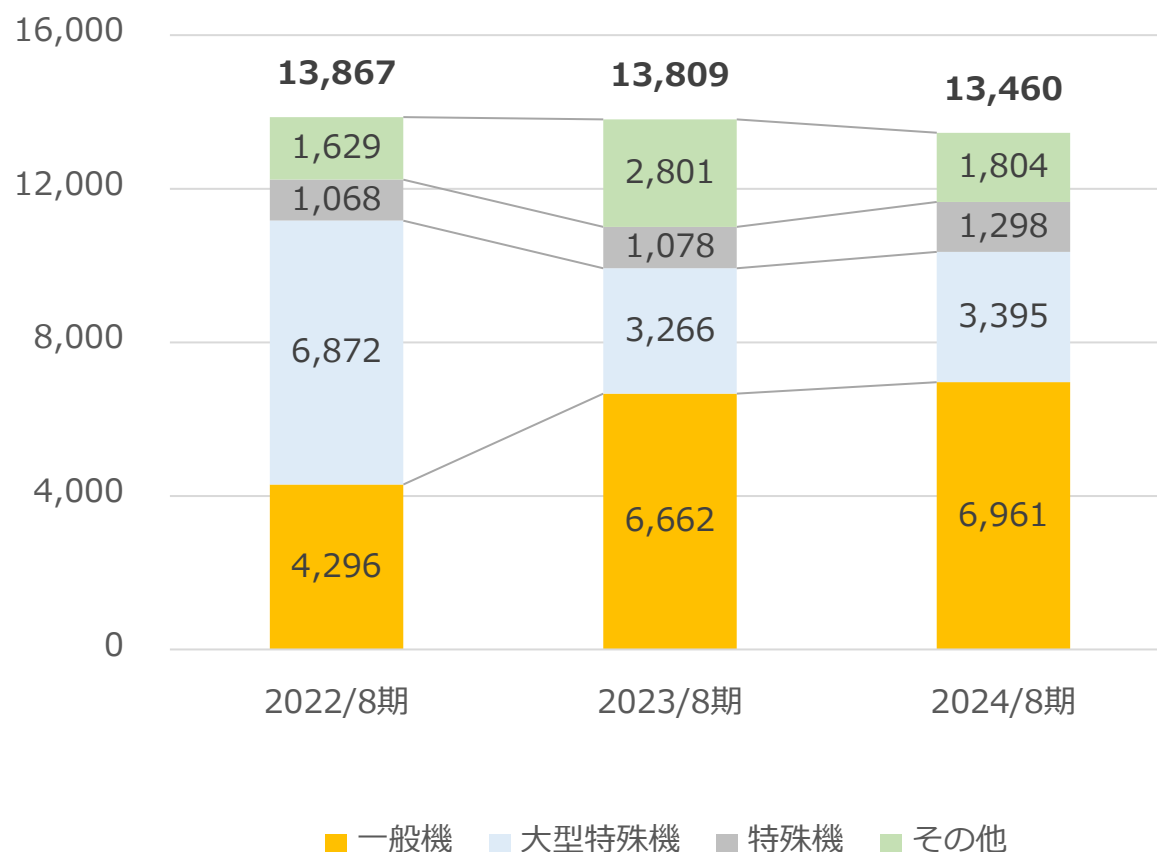


- ・国内において「サイレントパイラーF112」の販売が好調だった一方、インフレの影響で本設構造物の構築に用いる機械の販売が減少。海外では北米向けの機械販売等が売上をけん引
- ・市場での稼働台数の増加にともない、保守・部品売上は堅調に推移

2024年8月期決算概要 ― 建設機械事業 区分別売上高

製品区分別出荷額推移

単位：百万円



特殊機（例：CL70、JZ100）

超低空頭対応圧入機
ゼロ矢板圧入機
GRBシステム® など

大型特殊機（例：F301、F401）

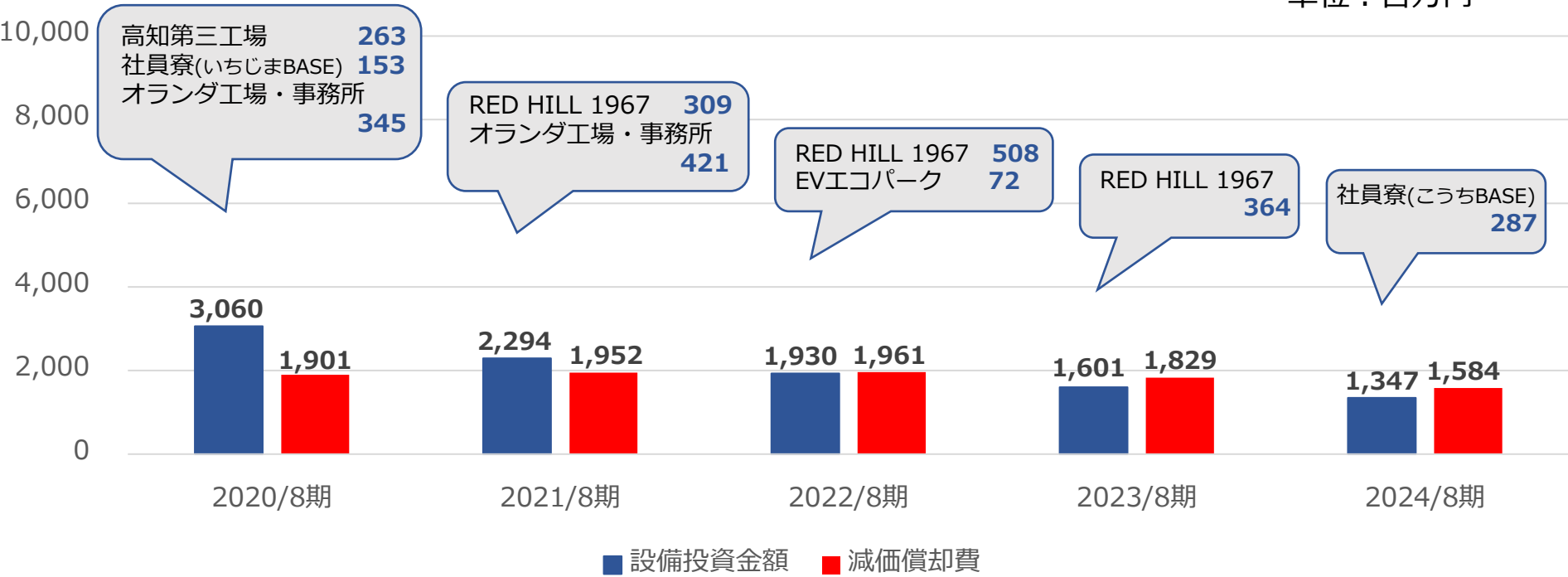
900mm幅ハット形鋼矢板対応機
回転切削圧入機（ジャイロパイラー）
鋼管矢板対応圧入機 など

一般機（例：F101、F112、F201）

400mm幅U形鋼矢板対応機 など

2024年8月期決算概要 ― 設備投資の推移

単位：百万円



設備投資内訳

	2020/8期	2021/8期	2022/8期	2023/8期	2024/8期
レンタル・デモ用機械	1,501	1,220	1,047	656	604
事務所、工場等施設	1,004	739	508	456	309
その他	555	335	375	489	432
合計	3,060	2,294	1,930	1,601	1,347

令和6年能登半島地震の緊急復旧工事 「のと里山海道」の「能登大橋」でも圧入技術が採用

施工前



施工中



施工中



技研施工が交通を妨げることなく土留め壁を急速構築

技研のビジネスモデルを各国で構築

圧入市場の創出：技研力を活用した提案で圧入技術の適用を前提とし、ニーズに対応した案件市場を創出

圧入業界の成長：圧入市場の拡大および社会課題を解決する高付加価値の技術提供を通じ、圧入施工を担う業界を拡大

市場形成が軌道に乗りつつある地域

■ヨーロッパ地域

- ✓ オランダにおいて、アムステルダム市の世界遺産の運河護岸改修PJ（商業化フェーズに移行）のほか、デルタプログラムの一環で実施される河川堤防の補強工事等で市場形成が進捗
- ✓ 既存市場の基盤強化、顧客ロイヤリティ向上に向け欧州版GTOSS「GTOSS EUROPE」を開始
- ✓ 業務提携協定を結ぶSeika Sangyo GmbH（本社：ドイツ）と工法普及の取り組みを推進

■アジア地域

- ✓ タイにおいて河川護岸整備等で市場づくりに注力
- ✓ インドで新しく市場調査を開始
- ✓ シンガポールにてジャイロ市場の形成に注力
- ✓ 中国でパートナー企業と連携した市場形成を推進
- ✓ 台湾で建設公害に対する意識の高まり等を背景に市場形成が進捗
- ✓ ODA市場の拡充

その他の地域

■北米

- ✓ 地域の特徴を生かした圧入市場拡大戦略の再構築に向けて市場調査および詳細な分析を実施
- ✓ 既存市場の基盤強化、顧客ロイヤリティ向上に向け北米版GTOSS「GTOSS North America」を開始

■南米

- ✓ ブラジルでのビジネス構築に向け、JICA支援を受けて三井物産株式会社と共に事業計画を策定（2024年末を目途）し、これを基に圧入需要のあるインフラに今後技術提案する

GIKENのビジネスモデルを浸透させ、ヨーロッパ、アジア地域を軸に安定成長する市場構造を確立
これを軸にGIKENのビジネスモデルに基づく具体的な行動を各国で実行。海外展開を加速

北米の有力ユーザーに鋼管矢板対応クリアパイラー「CLP200A」を納入。低空頭対応機の納入は北米初



洪水対策プロジェクトに採用。適用範囲の拡大に期待



Construction Revolution

Implant Method Changes Worldwide Construction